

令和7年度 会津教育事務所 指導の重点【前期】

第7次福島県総合教育計画

令和7年度学びの変革推進プラン

会津の強み 【令和6年度の学校訪問や各校の学力向上の取組、各種研修会協議から】

- 1 児童生徒のつまずきによる「悩み」に寄り添い、「思い」や「願い」を丁寧に拾いながら授業が展開されるなど、授業改善の意識が広がっている。教職員が一丸となって授業改善に取り組んでいる学校が増えている。
- 2 ペアやグループによる学び合いなど、学級全体で交流する言語活動を工夫した授業が見られる。
- 3 生徒指導の機能を生かしながら、児童生徒が互いに認め合えるような学級集団づくりに取り組んでいる学校が増えている。
- 4 ユニバーサルデザインの視点を大切に授業づくりが行われている。児童生徒が「分かる・できる」授業を目指した授業実践が増えている。

会津の課題 【令和6年度全国学力・学習状況調査結果、学校訪問等から】

- 1 全国平均正答率と比較すると、国語(小)及び国語(中)は全国平均をやや下回り、算数(小)及び数学(中)は下回っている。
- 2 平日や休日において、ゲームやスマートフォン等を使用する時間が多くなるにつれて、各教科の正答率が低下する傾向が見られる。
- 3 育成すべき資質・能力を明確にすることや、指導と評価の一体化を目指した授業づくりについて、意識を高めていく必要がある。
- 4 ICT機器を活用しながら自分の考えや意見を分かりやすく伝えるなど、「対話的・協動的な学び」のさらなる促進が求められる。
- 5 不登校児童生徒が年々増加し、1,000人あたりの出現率が全国や県平均を上回る傾向が見られる。

学びをつなぐ、育ちをつなぐ教育

確かな学力

1 主体的・対話的で深い学びの実現

○ 新「授業スタンダード」に基づく授業づくり

- ① 見方・考え方を働かせる問いの設定
- ② ねらいを明確にした話し合い場面の設定
- ③ まとめ・振り返りの時間の十分な確保
- ④ 一人一人の児童生徒の学び(変容)の見取り

○ 「指導の重点(小・中学校教育版)」の活用

・ 各教科等の授業の設計・実施・評価の工夫

2 学習の連続性を持たせる基盤づくり

○ 「家庭学習スタンダード」に基づく自己マネジメント力の育成

- ① 授業の学習内容の定着を図る家庭学習
- ② 家庭学習(復習、予習)を効果的に活用した授業の実施



3 学力向上対策の組織的な推進による授業改善

○ 全国学力・学習状況調査、ふくしま学力調査

の結果分析と活用(授業改善グランドデザイン参照)
・ 客観的データに基づく実効性のある改善策の実施

○ 教師が「話す」授業から、教師が「みる」「きく」「つなぐ」授業への転換(授業改善グランドデザイン参照)

○ 「ふくしま活用力育成シート」の活用による授業の質的改善

○ ICT機器を効果的に活用した学びの充実

4 カリキュラム・マネジメントの充実

- 育成を目指す資質・能力の明確化と教育課程の意義の共有
- ・ 教科等横断的な視点による教育計画の作成と実施



居場所づくりと絆づくり

1 不登校の未然防止と早期対応

○ 「ふくしまサポートガイド」の活用

- ① 教師による「居場所づくり」と児童生徒による「絆づくり」の推進(温かみのある学校風土)
- ② 「個別の援助計画」の作成と校内・校種間での共有
- ③ SCやSSW、保護者を加えたチームによる組織的な援助
- ④ 「特別な教室」設置やICT活用による学習機会の確保
- ⑤ 「子どものSOSをより早く気づくために」(パンフレット・ホームページ版の活用)

※ 会津教育事務所作成

⑥ 誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策(COCOLOプラン)に基づいた「チーム学校」による支援

2 いじめ見逃しゼロ

- ① 積極的な認知と組織的な早期対応
- ② 定期的アンケート調査等による状況把握と具体的対応



3 情報モラル教育の充実

○ 「ふくしま情報モラル診断」を活用したSNS利活用の適正な考え方と態度の育成

- ① アンケートによる児童生徒の実態把握
- ② 回答の分析による問題行動や課題の発見

4 心に響く道徳教育

- ① 学校、家庭、地域が一体となった道徳教育の推進
- ② 児童生徒が自己を見つめる時間を重視した授業づくり



共に学び、共に生きる教育

1 校内支援体制の充実

○ 「コーディネートハンドブック【2020年版】」の活用

- ① 特別支援教育コーディネーターを核としたケース会議や校内研修の充実
- ② 児童生徒、保護者との合意形成に基づく「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」の作成と活用、引継ぎ
- ③ 上記計画を活用した交流及び共同学習の充実
- ④ 教育的ニーズの整理の仕方(ハンドブック追補版参照)

2 ユニバーサルデザインの視点による授業づくり

・ 教室の環境整備やつまずきを想定した手立ての工夫



健やかな体

1 体力向上と健康推進

○ 「自分手帳」の活用による健康マネジメント能力の育成

- ① 体力向上推進計画の見直しと評価・改善
- ② 適切な運動量が確保された息も心も弾む授業の工夫

2 教育活動全体による食育の推進

- ① 肥満防止などの望ましい食習慣の育成
- ② 栄養教諭等の専門家派遣事業の活用



育ちをつなぐ学び

1 キャリア教育の推進

○ 「キャリア・パスポート」の活用

- ① 成長の振り返りや将来の生き方を考える学びの充実
- ② 学年・校種間・高等学校への引継ぎと実践的な活用

2 幼児教育の充実

- ① 幼児期における資質・能力の育成を図る指導計画の作成と実施
- ② 幼児教育段階からの非認知能力の育成と小学校以降につなぐ取組の実施
- ③ 幼保小連携、家庭や地域との連携の充実

